

注3

大学番号：私128

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東成学園  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画広報部企画・IR推進室

職名・氏名 カチョウ モリカワ ヨウイチロウ  
課長・森川 陽一郎

電話番号 044-953-6606

（夜間） 044-953-6606

F A X 044-953-1311

e-mail morikawa@tosei-showa-  
music.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 音楽学部

<音楽芸術表現学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	67

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東成学園

## (2) 大学名

昭和音楽大学

## (3) 大学の位置

〒215-8558

神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

(〒215-0004)

(神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シモヤカワ キョウスケ) 下八川 共祐 (昭和55年3月)		
学長	(ヤナセ ススム) 築瀬 進 (平成28年4月)		
学部長	(クロダ タカシ) 黒田 隆 (平成24年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 音楽芸術表現学科 学士(音楽)	音楽	4年	175人	3年次 35人	770人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	175人 ( - ) [ 0 ]								0.98倍	
志願者数	240 (-) [4]									
受験者数	240 (-) [4]									
合格者数	211 (-) [4]									
B 入学者数	173 (-) [4]									
入学定員超過率 B/A	0.98									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	173 [ 4 ] ( - )	— [ - ] ( - )							
2年次									
3年次									
4年次									
計	173 [ 4 ] ( - )								

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	173 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	173 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<音楽学部 音楽芸術表現学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	基礎ゼミ	1通	2			4	10	1	1 0	0 2	兼25 兼24	担当教員の変更(29)
	哲学 文学	1前 1後		2 2							兼1 兼1	
	西洋文化史Ⅰ	1前		2		1	0 +					担当教員の変更(29)
	西洋文化史Ⅱ	1後		2		1	0 +					担当教員の変更(29)
	日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ	1前 1後		2 2							兼1 兼1	
	美術史Ⅰ 美術史Ⅱ	1前 1後		2 2							兼1 兼1	
	心理学 心の健康	1前 1後		2 2							兼1 兼1	
	教育心理学 日本国憲法	2前 1前・後		2 2		1					兼1 兼1	
	経済学 生活と経済	1後 1前		2 2							兼1 兼1	
	生涯学習概論Ⅰ ボランティア論	1前 1前		2 2							兼1 兼1	
	演奏とからだⅠ 演奏とからだⅡ	1前 1後		2 2				1			兼6 兼7	担当教員の変更(29)
	音響学	1前		2							兼1	
	情報機器演習(基礎)	1前・後		2							兼2 兼3	担当教員の変更(29)
	情報機器演習(応用)Ⅰ	1前・後		2							兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	情報機器演習(応用)Ⅱ	1前・後		2							兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	博物館概論 図書館概論 キャリアデザイン	1前 1前 2前		2 2 1							兼1 兼1 兼3	
	芸術特別研究Ⅰ	1通		1		2 +	3	1 0	1 0	0 2	兼12	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	芸術特別研究Ⅱ	2通		1		2 +	3	1 0	1 0	0 2	兼12	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	音楽活動研究①	1通		1		3 +	1 0				兼6 兼2	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	音楽活動研究②	2通		1		3 +	1 0				兼6 兼2	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	音楽活動研究③	3通		1		3 +	1 0				兼6 兼2	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	音楽活動研究④	4通		1		3 +	1 0				兼6 兼2	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	体育理論 体育実技	1前・後 1前・後		2 1							兼1 兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	基礎英語 I	1通		2			1					兼0 兼10 担当教員の変更(29)	
	基礎英語 II	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	初級英語 I	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	初級英語 II	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	初級英語 III	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	初級英語 IV	1通		2			1					兼0 兼10 担当教員の変更(29)	
	初級英語 V	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	中級英語 I	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	中級英語 II	1通		2			1					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	中級英語 III	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	中級英語 IV	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	中級英語 V	1通		2			0 +					兼2 兼10 担当教員の変更(29)	
	上級英語 I	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	上級英語 II	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	上級英語 III	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	上級英語 IV	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	上級英語 V	1通		2			0 +					兼1 兼10 担当教員の変更(29)	
	基礎ドイツ語	1通		4									兼4 兼2 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	初級ドイツ語	2通		4									兼4 兼2 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	中級ドイツ語 I	3通		2									兼1 兼2 担当教員の変更(29)
	中級ドイツ語 II	3通		2									兼1 兼2 担当教員の変更(29)
	上級ドイツ語	4通		2									兼1 兼2 担当教員の変更(29)
	基礎イタリア語	1通		4			1						兼3 兼4 担当教員の変更(29)
初級イタリア語	2通		4			0 +						兼3 兼4 担当教員の変更(29)	
中級イタリア語 I	3通		2			0 +						兼1 兼4 担当教員の変更(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	中級イタリア語Ⅱ	3通		2		0 +						兼1 兼4 担当教員の変更(29)
	上級イタリア語	4通		2		0 +						兼1 兼4 担当教員の変更(29)
	基礎フランス語	1通		4								兼2 兼3 担当教員の変更(29)
	初級フランス語	2通		4								兼2 兼3 担当教員の変更(29)
	中級フランス語	3通		2								兼1 兼3 担当教員の変更(29)
	上級フランス語	4通		2								兼1 兼3 担当教員の変更(29)
専門科目	作曲・エレクトロニクス実技①	1通		6		1 2	2					兼3 担当教員の変更(29)
	作曲・エレクトロニクス実技②	2通		6		1 2	2					兼3 担当教員の変更(29)
	作曲・エレクトロニクス実技③	3通		6		1 2	2					兼3 担当教員の変更(29)
	作曲・エレクトロニクス実技④	4通		6		1 2	2					兼3 担当教員の変更(29)
	サウンドプロデュース①	1通		4			0 +					兼1 兼3 担当教員の変更(29)
	サウンドプロデュース②	2通		4			0 +					兼1 兼3 担当教員の変更(29)
	サウンドプロデュース③	3通		4			0 +					兼1 兼3 担当教員の変更(29)
	サウンドプロデュース④	4通		4			1					兼1 兼3 担当教員の変更(29)
	指揮実技①	1通		6								兼3
	指揮実技②	2通		6								兼3
	指揮実技③	3通		6								兼3
	指揮実技④	4通		6								兼3
	作曲Ⅱ①	1・3通		2		1	2					兼1
	作曲Ⅱ②	2・4通		2		1	2					兼1
	作曲Ⅱ③	3通		2		1	2					兼1
	作曲Ⅱ④	4通		2		1	2					兼1
	指揮演習①	1・3通		2		5 6	1	0 +				兼2 兼5 共同 担当教員の変更(29)
	指揮演習②	2・4通		2		5 6	1	0 +				兼2 兼5 共同 担当教員の変更(29)
	指揮演習③	3通		2		5 6	1	0 +				兼2 兼5 共同 担当教員の変更(29)
	指揮演習④	4通		2		5 6	1	0 +				兼2 兼5 共同 担当教員の変更(29)
	スコアリーダーディングⅠ①	1通		2		0 +						兼1 兼0 担当教員の変更(29)
	スコアリーダーディングⅠ②	2通		2								兼1
スコアリーダーディングⅡ	3通		2								兼1	
対位法	3通		2			1						
ミュージックセオリー(初級)	1通		2			1						
ミュージックセオリー(中級)	1通		2		0 +						兼1 兼0 担当教員の変更(29)	
ミュージックセオリー(上級)	1通		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	オーケストレーション	3通		4		1 0	1					教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	作曲・編曲法Ⅰ	3通		2							兼2	
	作曲・編曲法Ⅱ	3・4通		2		0 +					兼1	担当教員の変更(29)
	コンピュータ音楽概論	1・2通		4			1				兼2 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	デジタルミュージック概論	2前		2			1					
	ポピュラー音楽概論	1・2通		4							兼1	
	映像の音楽	2前		2							兼1	
	サウンドデザイン演習	2通		2			1					
	グラフィックデザイン演習	3通		2							兼1	
	音楽プログラミング演習	3通		2							兼1	
	映像制作演習	4通		2							兼1	
	音楽プロデュース論	3通		4							兼1	
	スタジオワークス①	3・4通		4							兼1	
	スタジオワークス②	4通		4							兼1	
	ソングライティング演習①	1通		2							兼2 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ソングライティング演習②	2通		2							兼3	
	PA演習	2後		2			1					
	録音制作Ⅰ	1・2前		2							兼1	
	録音制作Ⅱ	1・2後		2							兼1	
	録音制作Ⅲ	2前・後 3前・後		2							兼1	
	ピアノ実技Ⅰ①	1通		9		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノ実技Ⅰ②	2通		9		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノ実技Ⅰ③	3通		9		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノ実技Ⅰ④	4通		9		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノ実技Ⅱ①	1通		6		1					兼3	
	ピアノ実技Ⅱ②	2通		6		1					兼3	
	ピアノ実技Ⅱ③	3通		6		1					兼3	
	ピアノ実技Ⅱ④	4通		6		1					兼3	
	ピアノⅠ①	1通		6		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノⅠ②	2通		6		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
ピアノⅠ③	3通		6		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノⅠ④	4通		6		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノ①	1通		4		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノ②	2通		4		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノ③	3通		4		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノ④	4通		4		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノⅡ①	1通		2		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
ピアノⅡ②	2通		2		4	1		1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	ピアノⅡ③	3通		2		4	1			1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
	ピアノⅡ④	4通		2		4	1			1 0		兼71 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
	ピアノアンサンブル① ピアノアンサンブル②	1通 2通		2 2		1 1							兼1 兼1	
	ピアノアンサンブル③	3通		2		3	1				1 0		兼15 兼12	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ピアノアンサンブル④	4通		2		3	1				1 0		兼15 兼12	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅠ①	1通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅠ②	2通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅠ③	3通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅠ④	4通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅡ①	1通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅡ②	2通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅡ③	3通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	アンサンブルⅡ④	4通		2		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	伴奏実習基礎	1通		2									兼1	
	伴奏実習①	2通		1		2							兼5 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	伴奏実習②	3通		1		2							兼5 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	伴奏実習③	4通		1		2							兼5 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	伴奏法Ⅰ① 伴奏法Ⅰ②	1通 2通		2 2									兼1 兼1	
	伴奏法Ⅱ	3通		2									兼2 兼5	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏会実習	3・4通		2		1 0	0 2	0 4			1 0		兼1 兼65	担当教員の変更(29)
	演奏会実習Ⅰ	1通		4		1 0					1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏会実習Ⅰ①	2通		2		5	2 4	1				0 4	兼2	担当教員の変更(29)
	演奏会実習Ⅰ②	4通		2		5	2 4	1				0 4	兼2	担当教員の変更(29)
	演奏会実習Ⅱ①	1通		4		6 5	2 4	1			1 0	0 4	兼3	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏会実習Ⅱ②	2通		4		6 5	2 4	1			1 0	0 4	兼3	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏会実習Ⅱ③	3通		4		1 5	0 4	0 4			1 0	0 4	兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	演奏会実習Ⅱ④	4通		4		1 5	0 4	0 4			1 0	0 4	兼1 兼3	担当教員の変更(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	演奏会実習Ⅲ	1通		4		1 0				1 0	兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏分析	1通		2		1 0				1 0	兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演奏解釈	2通		4		5 3	2			1 0	兼4 兼3	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	メディア創作演習①	1通		2							兼1	
	メディア創作演習②	2通		2							兼1	
	メディア創作演習③	3通		2							兼1	
	メディア創作演習④	4通		2							兼1	
	インターンシップ	4通		2		1					兼1	
	指導教材研究	3前・後		2							兼1 兼2	担当教員の変更(29)
	指導者基礎Ⅰ	1通		2							兼1	
	指導者基礎Ⅱ	2通		2		1					兼0 兼1	担当教員の変更(29)
	児童心理	2前		2							兼1	
	卒業演奏	4通		4		1 0				1 0	兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	卒業論文	4通		4		3	1			1 0	兼2 兼3	担当教員の変更(29)
	オルガンⅠ①	1通		6							兼1	
	オルガンⅠ②	2通		6							兼1	
	オルガンⅠ③	3通		6							兼1	
	オルガンⅠ④	4通		6							兼1	
	オルガンⅡ①	1通		2							兼1	
	オルガンⅡ②	2通		2							兼1	
	オルガンⅡ③	3通		2							兼1	
	オルガンⅡ④	4通		2							兼1	
	電子オルガンⅠ①	1通		6			1				兼12	
	電子オルガンⅠ②	2通		6			1				兼12	
	電子オルガンⅠ③	3通		6			1				兼12	
	電子オルガンⅠ④	4通		6			1				兼12	
	電子オルガンⅡ①	1通		2			1				兼12	
	電子オルガンⅡ②	2通		2			1				兼12	
	電子オルガンⅡ③	3通		2			1				兼12	
	電子オルガンⅡ④	4通		2			1				兼12	
	電子オルガンアンサンブル①	1通		2							兼2	オムニバス
	電子オルガンアンサンブル②	2通		2							兼2	オムニバス
	電子オルガンアンサンブル③	3通		2							兼2	オムニバス
	電子オルガンアンサンブル④	4通		2							兼2	オムニバス
	電子オルガン演習①	1通		2						0 +	兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	電子オルガン演習②	2通		2						0 +	兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	電子オルガン演習③	3通		2						0 +	兼1 兼3	担当教員の変更(29)
	電子オルガン演習④	4通		2				1			兼0 兼3	担当教員の変更(29)
	電子楽器研究	2前		2				1				
	リトミック①	1通		2							兼1	
リトミック②	2通		2							兼1		
ピアノ指導法研究	3通		4						1 0	兼0 兼1	担当教員の変更(29)	
ピアノ指導法特論	3通		4		3	2			1 0	兼4 兼5	担当教員の変更(29)	
バレエ音楽演習	1通		2							兼2		
鍵盤演奏表現Ⅰ	1通		2						0 +	兼5	担当教員の変更(29)	
鍵盤演奏表現Ⅱ	3通		2						1	兼1		
鍵盤演奏表現Ⅲ	2通		2						1	兼1		
鍵盤演奏表現Ⅳ	2通		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	海外研修Ⅰ	1・3通		3		1 0	3 4				兼5	担当教員の変更(29)
	海外研修Ⅱ	2通		3			3 4				兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	海外研修Ⅳ	2通		3			3 4				兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	海外研修Ⅴ	1・3通		3			3 4				兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	海外研修Ⅵ	1通		1		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅶ	1通		2		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅷ	1通		1		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅸ	2通		1		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅹ	2通		1		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅺ	2通		1		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修Ⅻ	2通		2		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修ⅩⅢ	3通		2		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	海外研修ⅩⅣ	3通		2		1 0			1 0		兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅰ①	1通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅰ②	2通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅰ③	3通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅰ④	4通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅱ①	1通		3		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅱ②	2通		3		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	器楽実技Ⅱ③	3通		3		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
器楽実技Ⅱ④	4通		3		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
器楽実技Ⅲ①	1通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
器楽実技Ⅲ②	2通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
器楽実技Ⅲ③	3通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
器楽実技Ⅲ④	4通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	器楽Ⅰ①	1通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅰ②	2通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅰ③	3通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅰ④	4通		6		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅱ①	1通		2		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅱ②	2通		2		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅱ③	3通		2		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	器楽Ⅱ④	4通		2		5	2 +	1			兼77 兼65	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ヴァイオリンステップアップ①	1通		2							兼2	
	ヴァイオリンステップアップ②	2通		2							兼2	
	ヴァイオリンステップアップ③	3通		2							兼2	
	ヴァイオリンステップアップ④	4通		2							兼2	
	合奏Ⅰ①	1通		4		5	2 +	1		0 +	兼10 兼9	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅰ②	2通		4		5	1	1		0 +	兼6	共同 担当教員の変更(29)
	合奏Ⅰ③	3通		4		5	1	1		0 +	兼6	共同 担当教員の変更(29)
	合奏Ⅰ④	4通		4		5	1	0 +		0 +	兼24 兼6	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅱ	3通		2							兼2	
	合奏Ⅲ①	1通		2		4 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅲ②	2通		2		5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅲ③	3通		2		5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅲ④	4通		2		2 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅳ①	1通		2		2 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅳ②	2通		2		2 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅳ③	3通		2		2 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	合奏Ⅳ④	4通		2		2 5	1	0 +		0 +	兼23 兼5	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	室内楽Ⅰ①	1・2通		2		3 5	1 0	1		0 +	兼14 兼9	共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
室内楽Ⅰ②	2・3通		2		3 5	1 0	1		0 +	兼14 兼9	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)	
室内楽Ⅱ①	3通		2		3 6	1 0	1		0 +	兼15 兼10	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)	
室内楽Ⅱ②	4通		2		3 6	1 0	1		0 +	兼15 兼10	教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	室内楽実習Ⅰ①	1通		2		5	2 0		1		0 +	兼2 兼10	担当教員の変更(29)
	室内楽実習Ⅰ②	2通		2		5	2 0		1		0 +	兼2 兼10	担当教員の変更(29)
	室内楽実習Ⅰ③	3通		2		5	2 0		1		0 +	兼2 兼10	担当教員の変更(29)
	室内楽実習Ⅰ④	4通		2		5	2 0		1		0 +	兼2 兼10	担当教員の変更(29)
	コンチェルト実習	4通		2		5	2 +		1		0 +	兼2 兼+	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	コンチェルト実習Ⅰ	4通		2		5	2 +		1		0 +	兼2 兼+	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	コンチェルト実習Ⅱ	2通		2		5	2 +		1		0 +	兼2 兼+	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	楽器研究	1前		2		5 0	1 0	1 0			0 +	兼2 兼+	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	指揮法Ⅱ①	3通		2								兼1	
	指揮法Ⅱ②	4通		2								兼1	
	声楽Ⅰ①	1通		6		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅰ②	2通		6		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅰ③	3通		6		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅰ④	4通		6		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅱ①	1通		2		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅱ②	2通		2		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅱ③	3通		2		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽Ⅱ④	4通		2		5 4	2					兼29 兼24	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	声楽アンサンブル基礎	2前		1								兼1	
	ドイツ歌曲①	2前		1								兼1	
	ドイツ歌曲②	3後		1								兼1	
	日本歌曲①	3後		1								兼1	
	日本歌曲②	4前		1								兼1	
	フランス歌曲①	2後		1								兼1	
	フランス歌曲②	3前		1								兼1	
	歌うためのイタリア語	1通		2		1							
	合唱①	1通		2								兼3	
	合唱②	2通		2								兼2 兼3	担当教員の変更(29)
	合唱③	3通		2								兼2 兼3	担当教員の変更(29)
	合唱④	4通		2								兼2 兼3	担当教員の変更(29)
合唱指導法①	1通		2								兼1		
合唱指導法②	2通		2								兼1		
合唱指導法演習	3通		2								兼1		
オペラ演習Ⅰ①	1通		2							0 +	兼1	担当教員の変更(29)	
オペラ演習Ⅰ②	2通		2							0 +	兼1	担当教員の変更(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	オペラ演習Ⅰ③	3通		4			0 +			0 +	兼4 共同 担当教員の変更(29)
	オペラ演習Ⅰ④	4通		2		1				0 +	兼1 兼2 共同 担当教員の変更(29)
	オペラ演習Ⅱ	4通		2		2 +				0 +	兼3 兼2 共同 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	オペラ公演実習	4通		4		0 +				0 +	兼1 兼2 共同 担当教員の変更(29)
	指揮法Ⅰ	3通		2							兼2
	パフォーマンス①	1通		1						1	兼1 集中
	パフォーマンス②	2通		1						1	兼1 集中
	パフォーマンス③	3通		1						1	兼1 集中
	パフォーマンス④	4通		1						1	兼1 集中
	舞台表現演習①	1後		1		1				0 +	兼1 兼2 集中 担当教員の変更(29)
	舞台表現演習②	2後		1		1				0 +	兼1 兼2 集中 担当教員の変更(29)
	舞台表現演習③	3後		1		1				0 +	兼1 兼2 集中 担当教員の変更(29)
	ジャズ実技Ⅰ①	1通		6		1					兼17 兼13 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズ実技Ⅰ②	2通		6		1					兼17 兼13 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズ実技Ⅰ③	3通		6		1					兼17 兼13 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズ実技Ⅰ④	4通		6		1					兼17 兼13 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズアンサンブルⅠ①	1通		2		1				0 +	兼13 兼12 担当教員の変更(29)
	ジャズアンサンブルⅠ②	2通		2		1				0 +	兼13 兼12 担当教員の変更(29)
	ジャズアンサンブルⅠ③	3通		2		1				0 +	兼13 兼12 担当教員の変更(29)
	ジャズアンサンブルⅠ④	4通		2		1				0 +	兼13 兼12 担当教員の変更(29)
	ジャズアンサンブルⅡ①	1通		2		1				0 +	兼14 兼3 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズアンサンブルⅡ②	2通		2		1				0 +	兼14 兼3 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズアンサンブルⅡ③	3通		2		1				0 +	兼14 兼3 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズアンサンブルⅡ④	4通		2		1				0 +	兼14 兼3 教育課程の充実を図るため、担当教員を追加(29)
	ジャズ演奏法①	1通		2		0 +					兼7 兼8 担当教員の変更(29)
	ジャズ演奏法②	2通		2		0 +					兼2 兼8 担当教員の変更(29)
	ジャズ演奏法③	3通		2		0 +					兼2 兼8 担当教員の変更(29)
	ジャズ演奏法④	4通		2		0 +					兼2 兼8 担当教員の変更(29)
	ジャズコンポジション①	2通		4							兼1
	ジャズコンポジション②	3通		4							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ポピュラー実技Ⅰ①	1・3通		6			1					兼31 兼30	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ポピュラー実技Ⅰ②	2・4通		6			1					兼31 兼30	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ポピュラー実技Ⅰ③	3通		6			1					兼31 兼30	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ポピュラー実技Ⅰ④	4通		6			1					兼31 兼30	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	ポピュラーアンサンブル①	1・3通		2			1			0 +		兼1 兼6	担当教員の変更(29)
	ポピュラーアンサンブル②	2・4通		2			1			0 +		兼2 兼6	担当教員の変更(29)
	ポピュラーアンサンブル③	3通		4			1			0 +		兼2 兼6	担当教員の変更(29)
	ポピュラーアンサンブル④	4通		4			0 +			0 +		兼3 兼6	担当教員の変更(29)
	ポピュラー作曲・編曲法①	1・2通		4								兼3 兼4	担当教員の変更(29)
	ポピュラー作曲・編曲法②	2・3通		4								兼3 兼4	担当教員の変更(29)
	ポピュラー作曲・編曲法③	3通		4								兼1 兼4	担当教員の変更(29)
	ポピュラー作曲・編曲法④	4通		4								兼1 兼4	担当教員の変更(29)
	ポピュラー演奏法①	1通		2			1					兼5 兼15	担当教員の変更(29)
	ポピュラー演奏法②	2通		2			0 +					兼6 兼15	担当教員の変更(29)
	ポピュラー演奏法③	3通		2			1					兼5 兼15	担当教員の変更(29)
	ポピュラー演奏法④	4通		2			0 +					兼4 兼15	担当教員の変更(29)
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ①	1通		2			0 +					兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ②	2通		2			0 +					兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ③	3通		2			0 +					兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	ポピュラー・ジャズピアノⅡ④	4通		2			0 +					兼4 兼5	担当教員の変更(29)
	インストゥルメンツⅡ①	1・3通		2				0 +				兼6 兼22	担当教員の変更(29)
	インストゥルメンツⅡ②	2・4通		2				1				兼6 兼22	担当教員の変更(29)
	ポピュラーヴォーカルⅡ①	1通		2								兼2 兼9	担当教員の変更(29)
	ポピュラーヴォーカルⅡ②	2通		2								兼2 兼9	担当教員の変更(29)
	サウンドクリエイト①	1通		4								兼2 兼1	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	サウンドクリエイト②	2通		4								兼2 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
	ライブ実習Ⅰ①	2前		1			1					兼3 兼4	集中 教育課程の充実を図る ため、担当教員を追加(29)	
	ライブ実習Ⅰ②	3前		1			1					兼3 兼4	集中 教育課程の充実を図る ため、担当教員を追加(29)	
	ライブ実習Ⅱ①	2後		1			1					兼3 兼4	集中 教育課程の充実を図る ため、担当教員を追加(29)	
	ライブ実習Ⅱ②	3後		1			1					兼3 兼4	集中 教育課程の充実を図る ため、担当教員を追加(29)	
	コードプログレッション(ベーシック)	1通		4									兼3	
	コードプログレッション(アドバンス)	1通		4									兼3	
	イヤートレーニング	1前・後		2									兼1	
	リズムトレーニング	1前・後		1				1	0				兼2 兼4	教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	スタジオレコーディング①	2前・後		1									兼4 兼3	集中 教育課程の充実を図る ため、担当教員を追加(29)
	スタジオレコーディング②	3前・後		1									兼2	集中
	ダンス	1通		2									兼1	
	ジャズの歴史と作品	1前		2			1							
	卒業ライブ	4後		1				1					兼1	集中
	基本ソルフェージュ①	1通		2									兼7 兼10	担当教員の変更(29)
	基本ソルフェージュ②	2通		2									兼7 兼10	担当教員の変更(29)
	基本ソルフェージュ③	3通		2									兼7 兼10	担当教員の変更(29)
	聴音・視唱ソルフェージュ①	1通		2			0	1	+	2			兼6 兼7	担当教員の変更(29)
	聴音・視唱ソルフェージュ②	2通		2			0	1	+	2			兼6 兼7	担当教員の変更(29)
	聴音・視唱ソルフェージュ③	3通		2			0	1	+	2			兼6 兼7	担当教員の変更(29)
	鍵盤ソルフェージュ①	1通		2				1	2				兼3 兼6	担当教員の変更(29)
	鍵盤ソルフェージュ②	2通		2				1	2				兼3 兼6	担当教員の変更(29)
	鍵盤ソルフェージュ③	3通		2				1	2				兼3 兼6	担当教員の変更(29)
	総合ソルフェージュ①	1通		2									兼2 兼4	担当教員の変更(29)
	総合ソルフェージュ②	2通		2									兼2 兼4	担当教員の変更(29)
	総合ソルフェージュ③	3通		2									兼2 兼4	担当教員の変更(29)
	ハーモニー演習①	1通		2			0	2		1			兼5 兼4	担当教員の変更(29)
	ハーモニー演習②	2通		2			0	2		1			兼2 兼4	担当教員の変更(29)
ハーモニー演習③	3通		2			0	+					兼2 兼4	担当教員の変更(29)	
音楽基礎演習	1通		2						1			兼4		
西洋音楽史Ⅰ	1通		4			1	1					兼3 兼4	担当教員の変更(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	西洋音楽史Ⅱ	2前・後		2		1	1					兼3 兼4 担当教員の変更(29)
	楽式論Ⅰ	1・2前		2		1						兼1
	楽式論Ⅱ	1・2後		2		1						兼1
	ポリフォニー演習	1・2・3通		2			1					兼1
	管弦楽概論	2通		4								兼1
	音楽美学	3通		4		1	1					
	オペラの歴史と作品	2通		4		1						
	鍵盤音楽の歴史と作品	1通		4								兼2 兼3 担当教員の変更(29)
	器楽の歴史と作品	2通		4		1	1					
	日本音楽概論Ⅰ	2前		2								兼1
	日本音楽概論Ⅱ	2後		2								兼1
	民族音楽概論Ⅰ	2前		2								兼1
	民族音楽概論Ⅱ	2後		2								兼1
	音楽情報論	3通		4								兼1
	ミュージックビジネスと社会	1前		2								兼1
	ライブビジネスと社会	1後		2								兼2 兼4 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	演劇の歴史と作品	2前		2								兼1
	アートマネジメント概論Ⅰ	1前		2								兼2
	アートマネジメント概論Ⅱ	1後		2								兼1
	経営学Ⅰ	2前		2								兼1
	経営学Ⅱ	3前		2								兼1
	芸術関係法規	2後		2								兼1
	芸術文化と社会Ⅱ	2後		2								兼2 兼3 担当教員の変更(29)
	芸術文化環境論	2通		4								兼1
	文化政策論Ⅰ	3前		2								兼1 兼2 担当教員の変更(29)
	文化政策論Ⅱ	3後		2								兼1
	簿記・会計入門	1通		4								兼1
	舞台芸術概論	1通		4								兼1
	ステージマネージャー演習①	2後		1								兼1
	ステージマネージャー演習②	3後		1								兼1
	ステージマネージャー演習③	4後		1								兼1
	舞台機構調整演習	3前		2								兼1
	舞台スタッフ論①	1前		2								兼5 兼4 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	舞台スタッフ論②	1後		2								兼5 兼4 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)
	舞台制作概論	1前		2								兼1
	環境音楽論Ⅰ	3前		2								兼1
	環境音楽論Ⅱ	3後		2								兼1
	音楽心理学	2後		2								兼1
	音楽療法概説	1前		2								兼1
	社会福祉概論	2前		2								兼1
介護概論	2後		2								兼1	
障がい児教育概論	1後		2								兼1	
医学概論	2前		2								兼1	
発達心理学	1前		2								兼1	
日本古典芸能Ⅰ	1前		1								兼1	
日本古典芸能Ⅱ	1後		1								兼2 兼4 教育課程の充実を図るため、 担当教員を追加(29)	
日本古典芸能Ⅲ	2前		1								兼1	
ミュージカルの歴史と作品	2後		2								兼1	
舞踊の歴史と作品	2通		4								兼1	
看護学演習	3後		1								兼2 集中	
日本伝統音楽演習Ⅰ	3前・後		1								兼1 兼5 共同 担当教員の変更(29)	
日本伝統音楽演習Ⅱ	3前・後		1								兼1 兼5 共同 担当教員の変更(29)	
フィールドインターンシップ①	3通		2								兼2	
フィールドインターンシップ②	4通		2								兼2	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 435	科目 0	科目 436	科目 1	科目 435	科目 0	科目 436	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{436} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部と共用（借用面積848.46㎡〈期間H12～H32〉を含む）			
	校舎敷地	0㎡	22,742.00㎡	0㎡	22,742.00㎡				
	運動場用地	0㎡	623.52㎡	0㎡	623.52㎡				
	小 計	0㎡	23,365.52㎡	0㎡	23,365.52㎡				
	そ の 他	0㎡	1,162.96㎡	0㎡	1,162.96㎡				
	合 計	0㎡	24,528.48㎡	0㎡	24,528.48㎡				
(2) 校舎		専 用 ( 0㎡)	共 用 ( 35,681.11㎡)	共用する他の学校等の専用 ( 0㎡)	計 ( 35,681.11㎡)	昭和音楽大学短期大学部と共用			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体			
	37室	125室	169室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の追加により増加 (29)			
	音楽学部 音楽芸術表現学科			33 34 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本	昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体  図書、視聴覚資料は蔵書見直しによる除籍のため減少、機器・器具は「個人キャレラ」設置により減少 (29)	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
	音楽学部 音楽芸術表現学科	122,046 [61,652] 123,496 [62,756] (119,298 [59,962]) (118,525 [59,972])	39 [25] (39 [25])	1 [ 1 ] ( 1 [ 1 ] )	52,796 60,392 (49,969) (52,208)	74 84 ( 81 )	0 ( 0 )		
	計	122,046 [61,652] 123,496 [62,756] (119,298 [59,962]) (118,525 [59,972])	39 [25] (39 [25])	1 [ 1 ] ( 1 [ 1 ] )	52,796 60,392 (49,969) (52,208)	74 84 ( 81 )	0 ( 0 )		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体		
	1,597 ㎡		280 286		102,722				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					閲覧座席数は什器入れ替えにともない減少 (29)	
	- ㎡		特になし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部全体
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	20,678千円	20,678千円	20,678千円	
	共同研究費等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	22,742千円	45,000千円	45,000千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの設備費（運用コスト含む）を含む	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		2,240千円	1,990千円	1,990千円	1,990千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費等補助金、付随事業収入、受取利息・配当金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	昭和音楽大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
<< A C対象学部等 >> 音楽学部 音楽芸術表現学科	4	175	3年次 35	770	学士 (音楽)	0.98	平成29年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1	平成29年度より学生募集停止 同上 同上	
音楽学部 音楽芸術運営学科	4	100	3年次 5	410	学士 (芸術)	0.99	平成6年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1		
作曲学科	4	—	—	—	学士 (音楽)	—	昭和59年度	同上		
器楽学科	4	—	3年次 20	—	学士 (音楽)	—	昭和59年度	同上		
声楽学科	4	—	3年次 15	—	学士 (音楽)	—	昭和59年度	同上		
大学院音楽研究科 音楽芸術専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (音楽) 博士 (芸術) 博士 (音楽療法)	0.91	平成26年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1		
音楽芸術表現専攻 (修士課程)	2	18	—	36	修士 (音楽)	1.91	平成23年度	同上		
音楽芸術運営専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (芸術)	0.58	平成9年度	同上		
大学の名称	昭和音楽大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
音楽科	2	100	—	200	短期大学士 (音楽) 短期大学士 (芸術)	0.86	昭和44年度	神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<音楽学部 音楽芸術表現学科>

(1) 担当教員表

～略～

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
20	10	1	0	31	20	11	1	1	33	20	11	1	1	33
(20)	(10)	(1)	(0)	(31)						[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授65歳 准教授62歳 講師他60歳	10 名	14 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

～略～

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

～略～

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (2016年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	改善意見	教員組織編製の将来構想などを検討していくため学内での審議を開始した。なお、本件に関する改善意見は教授会で報告されている。 (29)	完成年度以降、教育水準を維持しつつ、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合を改善するため、中堅・若手の教員の一層の研究時間の確保、研究発表を行う機会の創出など、中堅・若手教員の人材養成をはかり、積極的に登用していく。 (29)
設置計画履行状況 調 査 時  (2017年2月)	音楽研究科音楽芸術専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	定年規程の趣旨を踏まえ、完成年度末となる平成29年3月において、3名の定年規程に定める退職年齢を超える専任教員が退任している。完成年度までに退任した2名を加えれば、開設時において、完成年度までに定年規程に定める退職年齢を超えることとなる専任教員8名のうち、5名が退任したこととなる。  また、これらの専任教員が退任となった後の教員補充については、完成年度までの教員組織編成に関する検討を踏まえながら年齢構成を考慮し、40代から50代の教授および准教授を中心に行なっている。  この結果として、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合については、開設時には、44.4%を占めていたが、平成29年5月1日現在、36.0%まで低下している。また、専任教員の平均年齢についても、開設時には、60.3歳だったが、平成29年5月1日現在、59.0歳まで低下しているなど、専任教員の年齢構成の適正化が数値的にもあらわれている。 (29)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合と、年齢構成が年代によって偏りがでないよう配慮しつつ、平均年齢が適切となるよう、教員組織編成の計画の実施と点検を継続していく。 (29)

<p>設置計画履行状況 調査時 (2017年2月)</p>	<p>同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部器楽学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部器楽学科は平成29年4月に学生募集を停止し、改組転換により音楽芸術表現学科を開設した。</p> <p>同年5月1日現在、音楽芸術表現学科の入学定員超過率は0.98倍となり、入学定員の超過については改善している。 (29)</p>	
<p>設置計画履行状況 調査時 (2017年2月)</p>	<p>同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部作曲学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部作曲学科は平成29年4月に学生募集を停止し、改組転換により音楽芸術表現学科を開設した。</p> <p>同年5月1日現在、音楽芸術表現学科の入学定員超過率は0.98倍となり、入学定員の未充足については改善している。 (29)</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <音楽学部 音楽芸術表現学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況          本学は、学則第4条で規定するFD活動を推進するために必要な事項を、審議・検討・実施する目的で、教授会の下にFD委員会を置き、FD活動を行っている。このFD委員会は併設する短大と合同で設置している。          名称：昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) ※平成28年度実績          4回実施(委員18名に対し、各回平均16.5名が参加)</p> <p>c 委員会の審議事項等 ※平成28年度実績</p> <p>第1回FD委員会 1.平成28年度学部・短大FD合同研修会に関する件、2.FD研修会の実施(基礎ゼミ)について、3.「学生による授業評価アンケート」について</p> <p>第2回FD委員会 1.平成28年度学部・短大FD合同研修会に関する件、2.「学生による授業評価アンケート」について</p> <p>第3回FD委員会 1.平成28年度学部・短大FD合同研修会に関する件</p> <p>第4回FD委員会 1.平成29年度学部・短大FD合同研修会に関する件、2.平成29年度年間テーマについて          3.「学生による授業評価アンケート」について、4.平成28年度「FD報告書」の作成について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 (併設する短大と合同での開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法についての研修会</li> <li>・音楽学部全体の研修会(年2回)</li> <li>・学生による授業評価アンケートの企画、実施、検証</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業方法についての研修会              本学では、教育課程の専門分野の課題解決や教員の資質の維持向上を図るため、部会・分科会からなる教学組織を編成している。学部全体で共通となる「年間テーマ」に沿って、部会・分科会単位でFD研修会を開催している。加えて平成28年度は、新設科目となる「基礎ゼミ」のFD研修会を新規で開催した。</li> <li>・音楽学部全体の研修会(年2回)              音楽学部の授業を担当する教員(非常勤講師含む)が一堂に会して行う全体研修会で、平成28年度は4月と9月に開催した。平成29年度は4月1日に実施し、9月6日にも開催を予定している(併設する短大と合同での開催)。</li> <li>・学生による授業評価アンケートの企画、実施、検証              学生による授業評価アンケートは音楽学部で開講する科目全てを対象とし、平成28年度は前期講義科目(7月)、実技科目(12月)、後期・通年講義科目(1月)を実施した(併設する短大と合同での開催)。              これらの結果を検証するためFD委員会のもとに審議作業部会を設置し、検討を行った。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・授業方法についての研修会（平成28年度FD研修会開催実績）
    - 作曲部会（①4月6日 参加者：教員14名、②7月20日 参加者：教員12名、③11月17日 参加者：教員5名、④2月4日 参加者：教員5名）
    - 鍵盤楽器部会（①4月6日 参加者：教員57名、②6月9日 参加者：教員53名、③11月15日・17日・30日 参加者：教員延べ83名、④2月1日・2日・4日 参加者：教員延べ66名）
    - 弦管打楽器部会（①4月6日 参加者：教員31名、②11月16日 参加者：教員20名、③12月3日 参加者：教員16名、④2月3日 参加者：教員17名）
    - ジャズ・ポピュラー音楽部会（①4月6日 参加者：教員25名、②7月27日・30日 参加者：教員延べ32名、③8月1日、2日 参加者：教員延べ31名、④11月15日参加者：教員16名、⑤2月7日・9日・10日 参加者：教員延べ43名）
    - 声楽部会（①4月6日 参加者：教員30名、②7月15日 参加者：教員5名、③8月2日 参加者：教員13名、④11月16日・25日 参加者：教員延べ36名、⑤1月11日 参加者：教員6名、⑥2月3日・13日 参加者：教員延べ34名）
    - 一般教育分科会（①9月13日 参加者：教員7名） 芸術特別研究分科会（①7月7日 参加者：教員22名）
    - 外国語分科会（①7月20日 参加者：教員9名） 音楽活動研究分科会（①9月14日 参加者：教員8名）
    - 音楽学分科会（①8月2日 参加者：教員12名）
    - ソルフェージュ分科会（①10月13日 参加者：教員31名、②1月26日 参加者：教員31名、③3月2日 参加者：教員29名）
    - 基礎ゼミFD研修会（8月5日 参加者：教員41名、12月27日参加者：教員38名）
  - ・音楽学部全体の研修会（年2回）
    - ①平成28年度 第1回音楽学部FD全体研修会（4月6日 参加者：教員251名）※併設大学院、短大と合同開催
    - ②平成28年度 第2回音楽学部FD全体研修会（9月6日 参加者：教員170名）※併設大学院、短大と合同開催
    - ③平成29年度 第1回音楽学部FD全体研修会（4月1日 参加者：教員237名）※併設大学院、短大と合同開催
  - ・学生による授業評価アンケートの企画、実施、検証
    - ①前期講義科目（7月8日～14日 対象科目137、回答率80.9%、満足度 音楽学部全体89.2%）
    - ②実技科目（11月29日 対象科目244、回答率71.0%、満足度 音楽学部全体98.4%）
    - ③後期・通年講義科目（1月6日～16日 対象科目636、回答率73.3%、満足度 音楽学部全体94.6%）
    - ④授業評価アンケート審議作業部会（4月14日 委員7名参加、7月27日 委員6名参加、9月26日 委員6名参加）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・授業方法について研修会、・音楽学部全体の研修会（年2回）
 

FD研修会の実施の際には、参加教員全員に「FD参加報告書」の提出を義務付けている。参加報告書は、参考になった点、今後自身の指導に生かせる内容か等を記入してもらい、その結果は集計のうえFD委員会で報告されている。FD参加報告書の内容を基に、次回のFD研修会の内容を検討するPDCAサイクルが確立されている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 有 実施時期は上記、開催状況に記載のとおり
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- 授業評価アンケートの結果は、FD委員会で検討のうえ、図書館に公開している。また、授業評価アンケートを実施した科目については、当該教員に結果を送り、授業改善計画書の提出を求めている。
- 授業改善計画書では、結果に対しての所見と、今後の改善策を記載してもらい、授業改善につながっている。授業評価アンケートの結果と授業改善計画書は、FD委員会のもとに審議作業部会を設置し、内容を確認している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>別紙に記載</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年8月1日 公表予定</li></ul> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検・評価報告書を作成し、教員が閲覧できる状態にて学内公開する。</li></ul> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成33年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中</li></ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成29年8月 )</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部FD委員会規程

### (目的)

第1条 昭和音楽大学（以下、大学という。）及び昭和音楽大学短期大学部（以下、短大という。）は、大学・短大が同一キャンパスに設置され、共に音楽に関する学術の中心として設置されていることに鑑み、それぞれの学則第4条で規定するFD活動を推進するために必要な事項を、審議・検討・実施する目的で、大学・短大の各教授会（以下、教授会という。）のもとに協同のFD委員会（以下、委員会という。）を置く。

### (職務)

第2条 委員会は、次の職務を行う。

- (1) 授業内容及び方法等の改善を図るための、研修と研究の企画立案と実施に関すること。
- (2) 教員の資質向上のための研修と研究に関すること。
- (3) 学生による授業評価アンケートに関すること。
- (4) その他FDに関すること。

### (構成)

第3条 委員会の委員は次の各号の者とする。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名（必要に応じて置くことができる）
- (3) 委員 若干名
- (4) 事務局責任者 1名

2 前項の他、委員会には、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

### (委員長)

第4条 委員長は大学・短大の専任教員のうちから学長が決定する。

2 委員長は委員会を統轄し、委員会において審議された事項について、必要と判断した場合は、教授会に附議または報告する。

### (副委員長)

第5条 委員会には必要に応じて副委員長をおくことができる。

2 副委員長の選任・委嘱は、前条第1項に準ずる。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### (事務局責任者)

第6条 事務局責任者は委員長と連絡し、運営委員会で決定された事項並びに方針について委員会への提言・連絡を行い、また委員会での審議事項及び決定事項について運営委員会への提言と報告を行うとともに、施策実施面での統率者となる。

### (委員)

- 第7条 委員は大学・短大の専任教員及び事務職員のうちから学長が決定する。
- 2 委員は委員会での審議事項ならびに決定事項について、所属する部会又は部課への報告を行い、所属する部会等からの要請事項を委員長へ提言する。
- (任期)
- 第8条 構成員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- (招集開催)
- 第9条 委員会は委員長が招集して開催する。
- (議事)
- 第10条 委員会は委員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- (決議の方法)
- 第11条 委員会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- (議事録)
- 第12条 委員会の議事は、議事録を作成するものとする。
- (作業部会)
- 第13条 委員会には、委員会の職務のうち特定の分野について審議・遂行する組織として作業部会を置くことができる。
- 2 作業部会に関する事項は別に定める。
- (規程の改廃)
- 第14条 この規程の改廃は運営委員会の議を経て学長が行う。
- 附 則 この規程は平成26年4月1日より施行する。
- 2 この規程の施行に伴い、昭和音楽大学音楽学部FD委員会規程及び昭和音楽大学短期大学部FD委員会規程は廃止する。
- 附 則 この規程は平成27年4月1日より施行する。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年4月に、昭和音楽大学(以下本学という)音楽学部に、音楽の演奏・創作に関わる人材の養成と研究を行う、音楽芸術表現学科(入学定員175名)を設置した。本学科には、教授研究の専門領域および養成する人材像に応じて16のコースを設置し、学生のニーズに応じたきめ細やかな教育活動を行う。

設置に先立って、アドミッション・ポリシーにもとづいて入学試験を適切に実施し、受験者240名のうち、211名を選抜し、最終的に173名が入学した。

入学者に対しては、入学の直後に履修ガイダンスをおこない、本学音楽学部の「人材養成目的」「カリキュラム・ポリシー」「ディプロマ・ポリシー」を周知した。また、本学科のカリキュラムの特色のひとつに、音楽および音楽関連の分野で社会に貢献する社会人に不可欠な基礎的・汎用的な能力を固め、その上に高度な専門性を築くという、汎用性と専門性のバランスのよさがある。学生の履修登録に際しては、こうしたカリキュラムの特色を活かした履修計画を立てるよう、1年生クラスを担当する教員が助言・指導を行った。

ガイダンスが完了した後、4月7日に教養科目、外国語科目、専門科目の授業を開始した。5月1日までに各科目3～4回(曜日による)の授業を、当初の計画に沿って実施した。なお、初年次の導入教育の新たな試みとして開講した科目、「基礎ゼミ」については、新規の取り組みであるため、慎重に効果測定しながら計画通りに実施している。

本学科には音楽(作曲、鍵盤楽器、弦・管・打楽器、声楽、ジャズ・ポピュラー音楽)の創作・演奏の専門家として活動するために不可欠な、基礎的な素養およびその応用を教授・研究することができる専任教員を配置した。専任教員は、専門分野ごとに教学組織を形成し、科目の運用や学生の指導にあたっている。また、教学組織間で歩調を整えるために、教学運営組織を形成し、横の連携をとっている。

FDについては、4月に平成29年度初回の研修会を、教員全体ならびに教学組織ごとに実施した。全体としては9月にもう一度実施予定であるほか、部会・分科会からなる教学組織ごとに年度内に複数回の開催を予定している。

以上、全体として設置の趣旨にもとづいて計画通りに教授研究活動を実施しており、4年経過後にはその目的を達することを見込んでいる。